真校だより第100号 令和5年7月号 めでとう 第100年

真校学校だより「ふきのとう」が、令和5年7月号をもって記念すべき第100号となりました。「ふきの とう」は、平成21年(創立61年目)に、真室川高校の教育活動や生徒の活躍する姿を、町内の方へお届 けするために、町役場・区長様・隣組長様の御協力により発行されたものです。今から14年前のことにな りますが、当時は全校生203名、職員は32名の規模でした。そこで、今回は校長先生のご挨拶と、特集として当時を知る真校のレジェンドの先生方に、「あの頃」と題してコメントをいただきました!



平成21年7月に第1号が発行された「ふきの とう」が、今回第100号を迎えることができ ました。これまで、真校生の姿を広くお知らせ するために情報発信してきました。今後も生徒 の活躍のみならず、地域とのかかわりの中で成

齋藤潤弥 校長 長していく真校生の様子を、適宜お伝えしてし ながら、「地域を元気にする学校」としての真校の魅力を発信 してまいります。ご家族みなさんでご覧いただきますようお願 い申し上げ、ご挨拶といたします。

ジェンドに聞く**~の**U



『ふきのとう』第1号が発行されたのは、私が 真室川校に赴任した14年前だったことをこの たび知り(すみません)、感慨深い気持ちにな りました。その当時受け持った学年は、生徒が 約70名(現在の10倍ですね)ほどいて、や

んちゃな生徒も多く、私は学級担任として日々 第日主日ルエールンドはいます。また、真室川校が力を入れ 奮闘していたことを思い出します。また、真室川校が力を入れ ていたキャリア教育で成長する生徒の姿に感動し、その指導内 容を吸収しようと日々勉強していました。それらの経験のおか げで今の自分があることに思い至り、改めて自分を成長させて くれた真室川校に感謝しています。



ふきのとう100号の発刊、とても嬉しく思い ます。平成21年が第1号なので今から14年 前の話になります。その年のことを思い出そう と生徒会誌『蕗』を見返したところ、印象的な ページがあったのでそれをお話しします。「先 生方にインタビュー」というコーナーで、アラ ジンの魔法のランプの精がどんなことでも3つ

松澤信高先生 だけ願いを叶えてあげます。何を願いますか?という質問に対し て、自分の答えは「今のままで十分満足です」というものでした 今も同じ思いです。14年前から現在まで、自分は生徒たちや職 場の方々等、恵まれた環境で仕事をしてきたのだなと感じていま す。これからもこの真校の良さを大切に、また感謝の気持ちを 持って仕事を頑張っていこうと思います。



あの頃は各学年2クラスと人数も多く、部活動数 も多く色々な面で賑わっていた印象です。

その当時はスキー部もあり、夏は蔵王、冬は北海 道などに合宿しインターハイで入賞するために過 酷な練習を生徒は毎日頑張っていました。生徒は

苦しくてもう嫌だなど愚痴もこぼさずマイナス1 5℃にもなる極寒の練習にも耐え抜き、女子は北海道札幌市で行わ れたインターハイでリレー競技 10位入賞を勝ち取ることができ、 生徒の笑顔はまぶしく輝いていました。

インターンシップは、働くことの意義や社会参画することの大切さを考え、今後の職業選択に資するよう に毎年実施(今年度より3日間)しています。また、今年度も真室川校魅力化地域連携協議会の御協力により、 町内の公共機関や事業所を中心とする地域に根ざしたインターンシップにすることで、将来の町づくりに寄 与する人材育成も狙いとしています。インターンシップを終えた生徒たちは、一回り大きく成長した感じが します。今回の経験は、今後の学校生活や進路活動に必ずや活かされるものと思います。お忙しい中、生徒 たちを受け入れてくださった皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



真校生と町民の方が交流する 27名の皆さんに

参加いただきました



7月20日(木) 真室川校初めての取組! みとして、「地域きずな授業」を行いましました。 た。これは、真室川校と地域住民の皆さん が交流を行うことで、生徒の郷土愛や他者 を思いやる気持ちを育み、また、地域に対 し真室川校の魅力を発信するとともに、地 域の方の楽しみや生涯学習に資することを 目的とした取組みです。当日は、音楽、美 術、書道、家庭科の4つの科目について、 高校生と住民の方が一緒に授業を受け交流

を行いました。 生徒からは「いつもは少人数だけど地域 の沢山の方と楽しく歌えて楽しかった」、 また参加者の皆さんからは、「生徒たちと の交流は良い、また会いたい」や「学生時 代に戻って楽しかった」等の感想をいただ きました。11月9日(木)の2回目もよろ しくお願いします。



1学年 マムロガワクシラ 巨大バルーン作製!

ルーンの作製を行いました。これは、1年生が 取り組む「地域探究」のテーマとして、マム ロガワクジラに関わる探究を行っていること と、町民俗資料館において開催される「マム ロガワクジラ展」とコラボレーションさせた ものです。作製は、生徒と技能員さんが力を 合わせ、直径約2.5m、長さ約8mの巨大クジ ラバルーンを完成させました。作製の途中は、 どの様なクジラが出来るか不安でしたが、完 成し空気を入れたときは、感動と達成感に包

まれました。600万年前には、真室川に



真室川音頭 踊り パッドントコイト

室川中学校との合同練習

7月4日(火)真宰川中学 校1年生と真室川校全生徒 による踊り合同練習会を行 いました。これは両校初の 取組みとして、互いに交流 することで理解を深め、き ずなを育むことや、地域の 一員として、一緒にまつり に参加し地域の活性化に資 することを目的としていま す。当日は真室川町婦人会 5名の方からご指導いただ き、中学生と一緒に楽しく 練習することが出来ました



花りっぱり運動②

7月19日(水)に2回目の花いっぱい運動 を行いました。今回は緑の募金交付事業の一 環として、やまがた森林と緑の推進機構から の交付金を利用し、プランターに花苗の植え

